

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		KID ACADEMY+垂水北校				公表日	2026年 1月 31日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4		個別カリキュラムを行なうスペースは机に座って支援しています。集団療育や活動の際は机を寄せ広いスペースを作り支援しています。	なるべく療育時間が集中しすぎないようします。(就学準備の対象児童と同じ時間に集団療育を行うなどをすすめています)	
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	3	利用定員10人に対し職員を配置基準より多く平日は5人以上配置しています。さらに送迎職員や指導員の増員を図っています。	送迎を行っており職員配置数が一時的に減ることがある。療育時間やルートの調整、送迎職員を増員を行います。	
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	3	子どもにもわかりやすい構造となるよう視覚化したカードを使うなど工夫しています。子どもの特性に合った支援をしています。	療育スペースをより効率的に使用したり、よりわかりやすく視覚化したりします。子どもたちの特性に合った環境作り配慮を行います。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	2	心地よく過ごし怪我の無いよう環境整備、整理整頓、清掃消毒等を毎日行っています。換気もしっかり行い空気清浄機も設置しています。	より快適で安全な空間を保つため、普段行わないところの清掃や消毒等を定期的で計画的に行っていきます。	
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		多目的で使用できる多目的室があり、必要に応じて個別支援室として使用できます。布団やマットレスの使用もできます。		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	1	業務改善を進めるため、職員会議や個別面談を行っています。全員の職員の意見を求め、業務改善を常に行ってています。	広く職員が参画しているという意識が乏しいと思われます。業務改善の会議や面談の目的や目標を明確化していきます。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		保護者からの意見、意向を常に把握し、その内容を業務改善につなげるように職員会議を行っています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1	職員の意見は常に会議や個別面談を行い、把握している。	意見等を把握し業務改善につなげていると把握したり感じができるよう、会議の目的を明確化し、また機会を増やします。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	3	第三者による外部評価は行っていませんがKID ACADEMY+の事業所として常に本部との連携を行って業務改善を図っています。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	1	外部研修への参加を会社負担したり、参加を促したりしています。KID ACADEMYの研修も定期的に行っています。	より研修等の参加しやすい環境にするため、職員の増員をしたり、研修への参加を促します。環境を整えより資質の向上を図ります。	
支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4		支援プログラムを作成、公表しています。	職員にその周知を行っていきます。	
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7				
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7				
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	1	個別支援計画は職員全員が共有できる場所に設置しており常に共有しています。	支援者会議の機会をより増やし、計画に沿った支援が行えるよう努めます。	
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6				

適切な支援の提供	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6			
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6			
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7			
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7			
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7			
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	3		
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	1		
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6			
	24 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4		サービス担当会議や関係機関と会議が開催されておらず、参加していません。事業所連携は適宜保護者の許可を得て行っています。	
関係機関や保護者との連携	25 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2	2	利用児童が通所している園と連携して支援を行なう体制を整えています。	今後、より地域連携、関係機関との連携を行っていく様に体制を構築します。
	26 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2	1		
	27 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2		就学時の移行支援として情報共有を行っています。	
	(28~30は、センターのみ回答)				
	28 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29 質の向上を図るために、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30 (自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	(31は、事業所のみ回答)			地域の児童発達支援センターとの連携はとつていなかった。	児童発達支援管理責任者や管理者が連携できるよう、会議や活動に参加する機会を設けていきます。
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	7			
	32 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他の子どもと活動する機会があるか。		6	地域の他の都どもたちとの活動は行っていません。	児童発達支援事業所としてより、園との連携や交流ができる体制構築を行います。
	33 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7			
	34 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	5	家族支援プログラムとして、利用者保護者に研修や講習のお知らせとして情報共有しています。	家族支援プログラムの研修等おしらせを情報提供をしている旨を職員にも共有し、職員一同が利用者に情報提供できるよう改善します。

保護者への説明等	35 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4		通所契約時に重要事項説明として、説明させていただいている。	
	36 児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6			
	37 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6			
	38 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6			
	39 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6		現在の所、保護者会の活動等は行っていません。	今後、希望する保護者等が参加できる機会を設け、交流する機会を設置し支援していきます。
	40 こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6			
	41 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6			
	42 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6			
	43 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			
	44 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5		事業所内の個別療育、集団療育、就学支援に全力を注いでいます。	地域に開かれた事業運営ができるよう体制整備に努めます。
非常時等の対応	45 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4		マニュアル設置し、訓練を行っています。	
	46 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4		BCP策定しています。訓練等も行っています。	
	47 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	4	1	契約時に利用児の健康状態や服薬状況等、必要事項は確認しています。	予防注射の接種状況は把握していないが、罹患した疾患や園で流行している感染症の把握や予防対策を徹底し子どもの健康管理を行っています。
	48 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4		食事の提供はしていませんが、アレルギーがあるお子さまにも安心して療育が受けられるよう、教材等にも配慮しています。	
	49 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4			
	50 子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4		契約時にすべての利用児保護者と、安全確保の取り組みについて説明し周知しています。	
	51 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7			
	52 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7			
	53 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6			